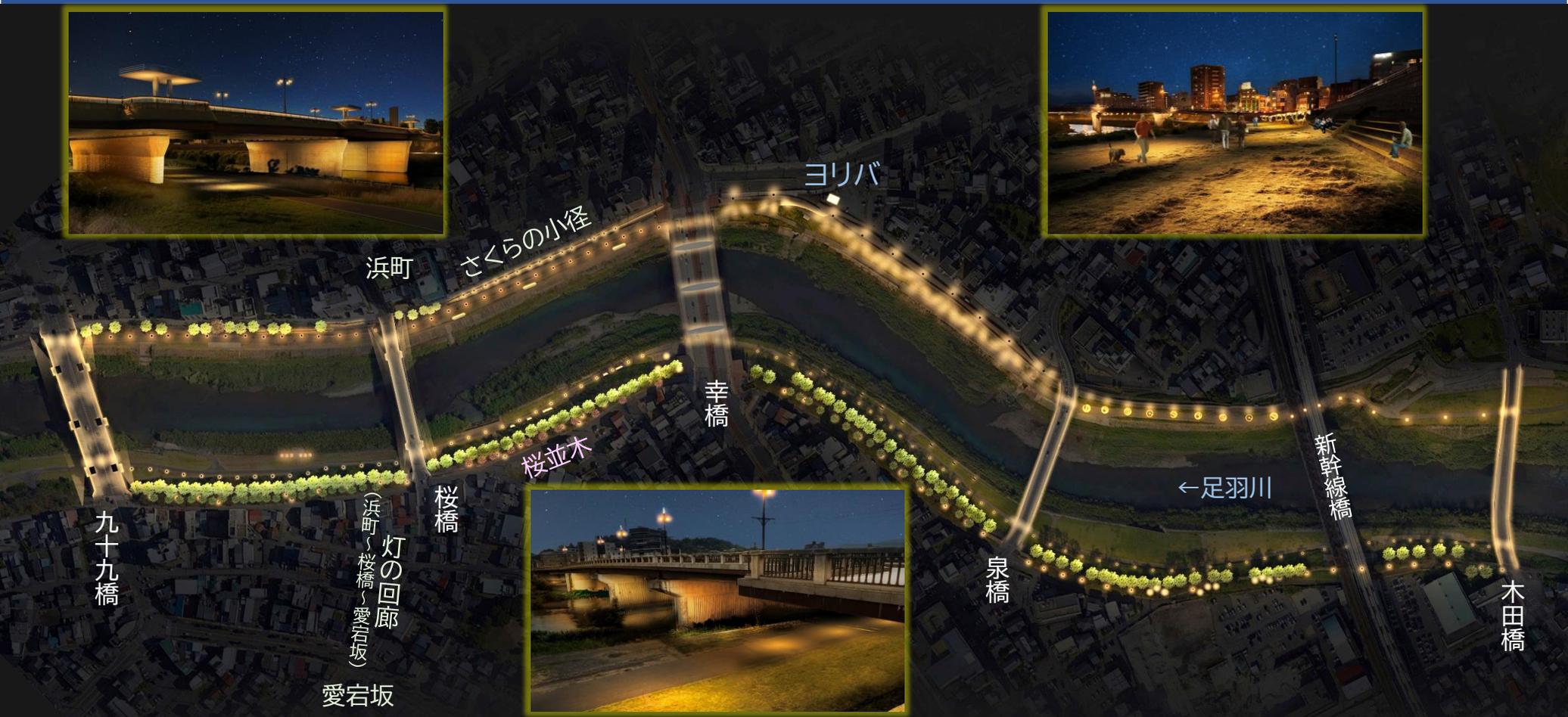


足羽川ライトアップ計画



令和6年6月
福井県

目次

第1章 はじめに

- 1-1. 夜間景観形成の重要性
 - 1) 都市照明の基本的な考え方 . . . 1
 - 2) 足羽川周辺における夜間景観形成の重要性 . . . 1
 - 3) 他都市の事例 . . . 2
- 1-2. 計画の目的 . . . 3
- 1-3. 本計画の位置づけ . . . 3
- 1-4. 対象エリア . . . 3

第2章 足羽川周辺における夜間景観の現状と課題

- 2-1. 各橋梁の現状
 - 九十九橋、桜橋、幸橋、泉橋、木田橋 . . . 4
- 2-2. 足羽川周辺の現状
 - ①九十九橋～桜橋間 . . . 5
 - ②桜橋～幸橋間 . . . 5
 - ③幸橋～泉橋間 . . . 6
 - ④泉橋～木田橋間 . . . 6
- 2-3. 夜間景観の課題 . . . 7
- 2-4. 足羽川ライトアップ社会実験 . . . 8

第3章 夜間景観形成の基本方針

- 3-1. 夜間景観形成のコンセプトと基本方針 . . . 9
- 3-2. エリアの関係性とエリアコンセプト、夜景平面図 . . . 10
- 3-3. エリア別整備方針 . . . 11

第4章 夜間景観形成に向けたエリア別基本計画

- 4-1. 九十九橋 . . . 12
- 4-2. 桜橋 . . . 13
- 4-3. 幸橋 . . . 14
- 4-4. 泉橋 . . . 15
- 4-5. 木田橋 . . . 15
- 4-6. 右岸 河川敷遊歩道 . . . 16
- 4-7. 右岸 河川敷（ヨリバ・幸橋周辺広場） . . . 17
- 4-8. 右岸 堤防天端遊歩道（浜町周辺、さくらの小径） . . . 18
- 4-9. 左岸 桜並木・堤防天端遊歩道 . . . 19
- 4-10. 左岸 河川敷遊歩道 . . . 20
- 4-11. 左岸 河川敷遊歩道（あかりのモニュメント） . . . 21
- 4-12. 照明設備の設計・整備にあたって . . . 22

参考資料（別紙）

- 1. 照明社会実験
- 2. アンケート調査結果
- 3. ワークショップ概要

1-1. 夜間景観形成の重要性

1) 都市照明の基本的な考え方

ライフスタイルの変化により、今日では日没後の良好な環境形成は非常に重要になっている。ただ明るさを確保するための照明整備ではなく、美しく風格のある都市形成や快適で健やかな住環境づくりなど、良質で場所に合った夜間景観形成が求められている。

例えば、公園などの公共空間では環境の魅力づくりと共に夜間の利活用を支える手法として、観光の視点では地域の魅力を際立たせ、誘客や滞在快適性を高める手段として、まちづくりにおいては地域への愛着やシビックプライドの誘発を担うなど、国内外で様々なライトアップ計画が行われ、実装されている。

河川空間においては、国内外で橋梁のライトアップによるエリアの魅力の磨き上げや水辺エリアの利活用に伴う夜間景観の形成などが各地で行われている。防災においても河川における視覚情報としての照明効果が注目されるなど、屋外環境における「あかり」の役割はますます重要になっている。

2) 足羽川周辺における夜間景観形成の重要性

福井市中心部にある足羽川は、美しい桜並木の連なる豊かな自然環境に恵まれた市民に愛される水辺エリアとなっている。

令和4年度に福井商工会議所・福井県・福井市が策定した「県都グランドデザイン」においても、足羽川周辺のにぎわい創出に向け、足羽川を多様な楽しみ方ができる通年型の親水アクティビティパークに磨きあげることが目標に掲げている。

北陸新幹線開業にあわせた福井駅周辺における再開発施設のオープン、足羽川アクティビティ拠点施設「ヨリバ」のオープンや水辺空間でのイベント開催等により、今日では多くの人々が夕刻から夜間にかけて、ウォーキングや様々な屋外活動を行うようになっている。

今日の観光都市においては、宿泊や飲食などにつながる夜間景観形成が非常に重要になっており、インターネットを介した個人旅行の普及など旅行形態の変化によって、観光地には映像・画像で地域魅力を発信できる「絵になる夜景」の創出と確立が不可欠になっている。

① 不安な場所から



UR豊成団地

安全安心な場所へ



日中美しい樹木は夜間には暗がりをつくってしまう。長寿命なLEDの普及により公共空間でも、樹木のライトアップを利用した安心感を手に入れることができるようになる。

② 間に沈んでいる水辺



HAT神戸なぎさプロムナード

本来の魅力が活かされた水辺



既存の護岸すりや雁木などへの照明設備設置だけでも、夜間の環境は激変する。

空間の素材や意匠、既存の土木デザインを「磨き・魅せる」のが照明デザインである。

③ 渡るための橋梁



堂島大橋

ランドマークとしての橋梁



橋梁は、河川景観において最も重要なランドマーク。

ライトアップを実施することにより、橋梁を視覚的ポイントとして、回遊性を高めることができる。

④ 誰もいない広場



神戸市メリケンパーク

みんなが行きたい広場



モニュメントやアートによって視線を誘導したり、記念撮影を誘発することができる。

照明付きベンチや光るサイン等も夜間の安全安心に寄与する。

3) 他都市の事例

全国各地で、安全安心の確保やにぎわいづくりの視点から、照明による様々な夜間景観の演出が行われている。

◆河川風景のライトアップ



長門湯本温泉（長門市）

橋梁と河川内に照明をデザインし、観光誘客

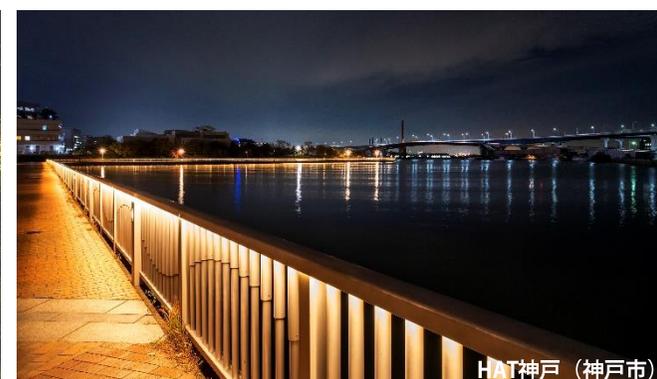
◆桜並木のライトアップ



鳥取市袋川桜並木・常設（鳥取市）

圧倒的な桜並木を通年でライトアップ

◆手すり間接照明



HAT神戸（神戸市）

手すりを利用したあかりで夜間の散策や運動を誘発

◆外側から広場等利活用空間を投光



草津川跡地公園（草津市）

利活用のための大空間は外側から投光して明るさを確保

◆樹木・ベンチ間接照明（安全安心のあかり）



名谷駅前広場（神戸市）

間接照明によって視覚的な明るさ感が高まる。

◆防災アラートとしての景観照明



ライティング防災アラートシステム（人吉市）

水位の上昇をWebカメラでわかるように色光でアラート

1-2. 計画の目的

まちなかを流れる足羽川の遊歩道や河川敷をライトアップするとともに、木田橋から九十九橋の5つの橋をあかりでつなぎ、美しい夜間景観を演出することにより、中心市街地や足羽川周辺の回遊性を高め、まちなかのにぎわいの創出を図る。

1-3. 本計画の位置づけ

本計画は、「県都グランドデザイン」や「福井市夜間景観ガイドライン」に掲げた将来像や目標等の実現に向け、足羽川周辺の美しい夜間景観を演出する整備のための基本計画とし、県が福井市と連携して作成。

照明整備にあたっては、実施設計を行い、詳細な仕様等を決定する。

県都グランドデザイン(令和4年10月)

将来像 誰もが主役に！楽しさあふれる県都

領域1 “たのしみ”をつくる

目標1 歴史や自然を活かした歩きたくなるまちをつくる

○足羽川周辺のにぎわい創出

- ・浜町界隈を視点場として足羽川左岸をライトアップするとともに、木田橋から九十九橋の5つの橋を照明でつなぐ「光の川・ライトブリッジ構想」を進め、美しい夜間景観を演出する。

○浜町～愛宕坂～足羽川の磨き上げ

- ・足元を照らすダウン照明の設置により、しっとりとした街並みの景観を形成する。
- ・浜町～桜橋～愛宕坂の動線を行灯等でつなぐ「灯の回廊」を整備し、夜の景観を演出する。



ライトブリッジのイメージ

福井市夜間景観ガイドライン(平成20年3月)

市の夜間景観における主な課題

- ②安全・安心な暮らしを支える光の充実
- ④福井固有の景観資源の活用
- ⑤夜間景観を楽しむ場所の創出
- ⑧市民・事業者・行政の協働・連携
- ⑨夜間における回遊性の創出

《夜間景観形成のテーマ》

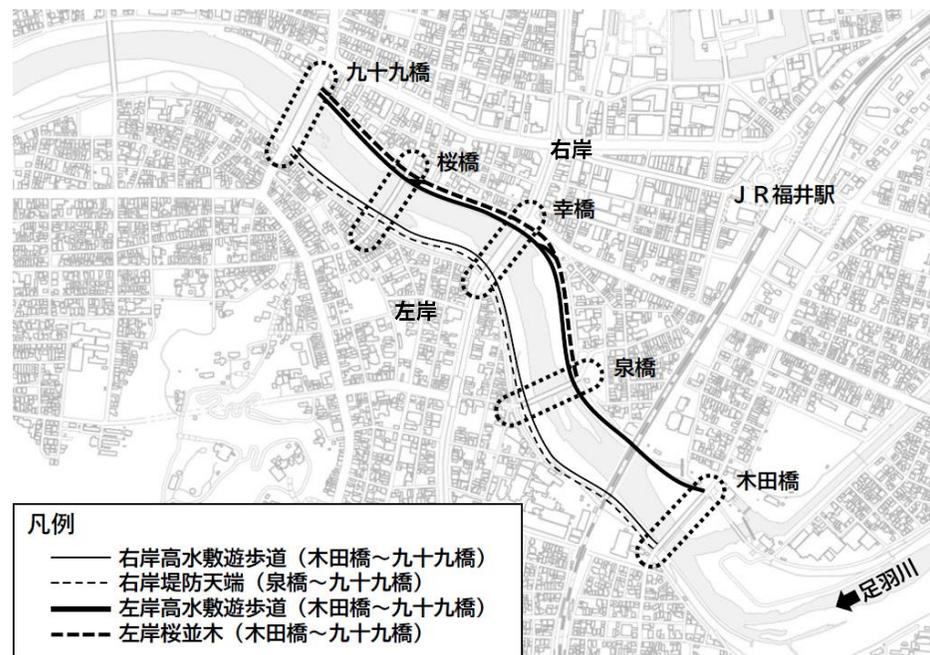
桜並木と水辺が楽しめる安らぎの光

《夜間景観形成の基本方針》

- 市民が誇りに思う桜並木や足羽川の水辺に一年を通して観しめるよう、やさしい光がいざなう散歩道を形成します。
- 広大な河川敷を利用して、夜間も人が憩い、散策できるような光の空間を形成します。
- 水辺に映えるアクセントとして統一感のある光により橋をライトアップするとともに、桜並木や水辺を楽しむ視点場として整備・活用します。

1-4. 対象エリア

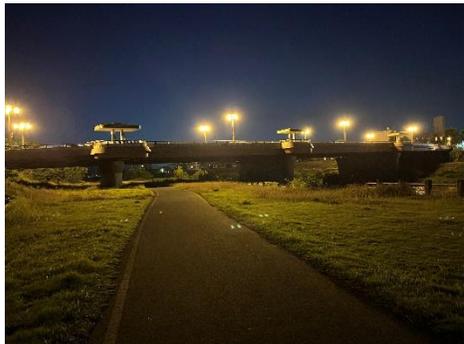
足羽川（九十九橋～木田橋）



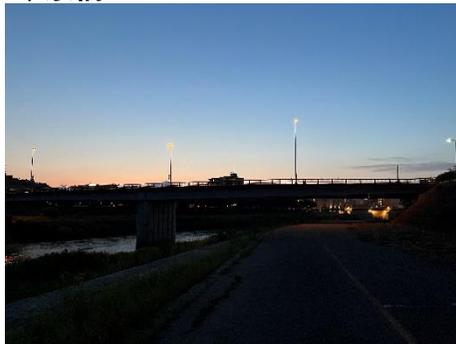
- 凡例
- 右岸高水敷遊歩道（木田橋～九十九橋）
 - 右岸堤防天端（泉橋～九十九橋）
 - 左岸高水敷遊歩道（木田橋～九十九橋）
 - 左岸桜並木（木田橋～九十九橋）

2-1. 各橋梁の現状

◆九十九橋



◆泉橋



◆桜橋



◆木田橋



◆幸橋



- ・九十九橋 景観に配慮した道路照明
- ・桜橋 景観に配慮した道路照明、地覆（側面）照明による演出
- ・幸橋 景観に配慮した道路照明、橋脚ライトアップ実施による演出、手すりの足元照明
- ・泉橋 一般的な道路照明
- ・木田橋 一般的な道路照明

2-2. 足羽川周辺の現状

① 九十九橋～桜橋間

◆左岸



左岸：河川敷、堤防天端遊歩道ともに照明がない。

◆右岸



右岸：河川敷に照明がない。堤防天端遊歩道（さくらの小径）の一部区間には照明灯が設置されている。

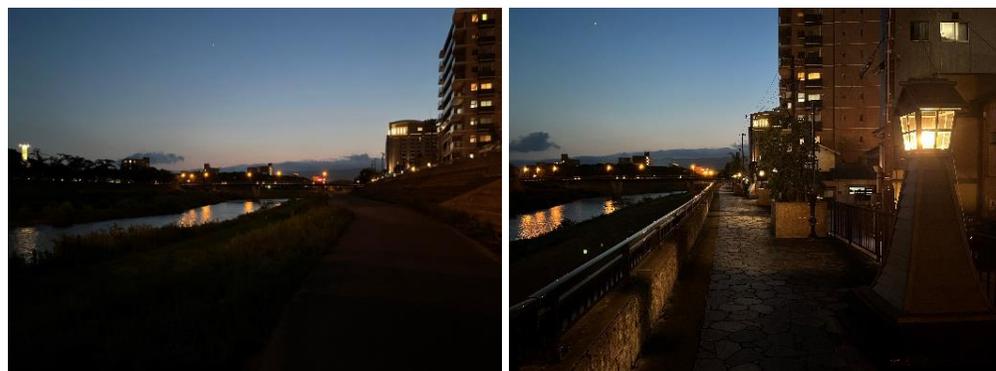
② 桜橋～幸橋間

◆左岸



左岸：河川敷に照明がない。堤防天端遊歩道には足元照明が設置されている。

◆右岸



右岸：河川敷に照明がない。堤防天端遊歩道（さくらの小径）には照明灯が設置されている。

2-2. 足羽川周辺の現状

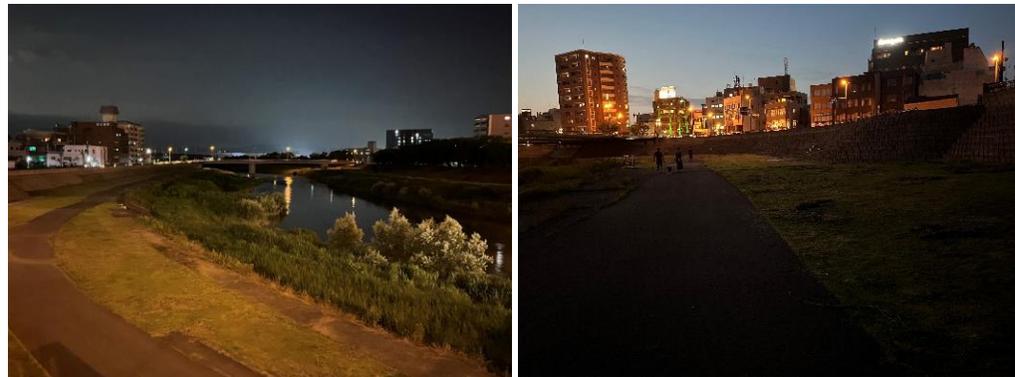
③ 幸橋～泉橋間

◆左岸



左岸：河川敷、堤防天端遊歩道ともに照明がない。

◆右岸



右岸：河川敷、堤防天端遊歩道ともに照明がない。

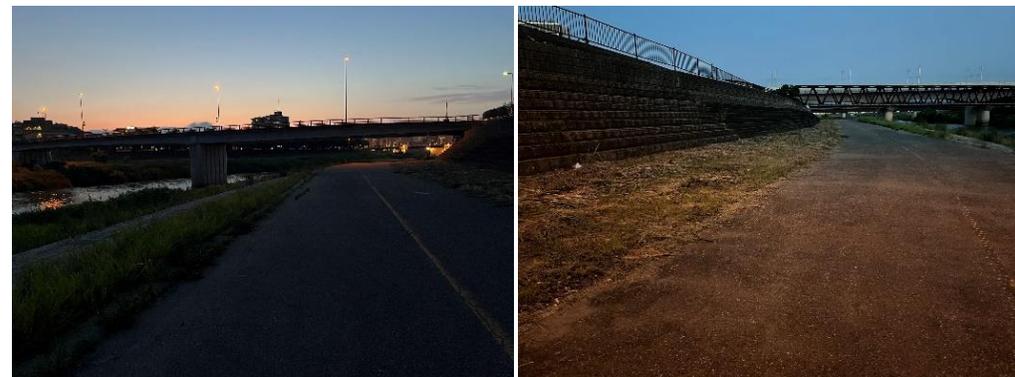
④ 泉橋～木田橋間

◆左岸



左岸：河川敷、堤防天端遊歩道ともに照明がない。

◆右岸



右岸：河川敷、堤防天端遊歩道ともに照明がない。

2-3. 夜間景観の課題

◆各橋梁

- ・幸橋と桜橋では照明演出が行われているものの、木田橋、泉橋、九十九橋には演出照明がなく、まちなかの夜間のランドマークとはなっていない。
- ・道路の安全な通行に必要な照明は設置されているものの、歩行者が快適に歩き、回遊したくなるような仕掛けが望まれる。
- ・5橋ともエネルギーロスの大いH I D光源のため、照明設備の頻繁な更新が必要であり、省エネや維持管理費の縮減が望まれる。
- ・橋梁照明は、グレア（不快なまぶしさ）が強く、道路照明ばかりが目に入る状況。橋を際立たせるには、遮光や下方配光の照明への変更が考えられる。

◆河川敷、堤防天端遊歩道

- ・河川敷遊歩道は、照明がなく、通年にわたって暗がりのため、夜間の利用が少ない状況。
- ・堤防天端遊歩道も、ほとんどの区間で照明がなく、夜間の利用が少ない状況。左岸の幸橋～桜橋間（足元照明）や右岸の浜町周辺のさくらの小径（照明灯）では照明が設置されているものの、十分な明るさとは言えず、安全性や快適性の向上が望まれる。
- ・福井市の誇る2.2kmにわたる左岸の桜並木は、「桜まつり」時には美しいライトアップで明るさとにぎわいが見られるが、通常時は照明がなく、桜並木を通年に渡って活かし、魅せることが望まれる。
- ・新たに整備された足羽川アクティビティ拠点施設「ヨリバ」エリアを中心に、多様なアクティビティ活動やキャンプ等の夜間イベント開催が増えており、昼夜を通して活動・開催できる河川空間の創出が望まれる。
- ・足羽川周辺のにぎわい創出に向けては、水辺の魅力を高め、眺める価値のある風景を創出し、足羽川を歩く・眺める・佇む目的地に感じてもらうことが必要。



- ・橋梁を魅力的な光のランドマークへ
- ・夜間におけるまちなかの回遊性の創出
- ・既存照明の省エネ化や維持管理の縮減

- ・河川敷遊歩道を夜間に利用できる明るさの確保
- ・堤防天端遊歩道の暗がり感の払拭や快適性の向上
- ・桜並木を通年にわたって魅せる工夫
- ・アクティビティやイベントに寄与する空間の創出
- ・眺める価値のある「オンリーワンの風景」や「絵になる風景」の創出
- ・歩く／眺める／佇む目的地となる足羽川へ

2-4. 足羽川ライトアップ社会実験

◆目的

足羽川ライトアップ計画作成に向けて、河川敷遊歩道や堤防天端遊歩道、橋梁を仮設設備で一定期間ライトアップし、明るさや見え方を検証
夜間景観形成イメージを共有するとともに、ライトアップの効果等を確認

◆日時、場所

- 第1期 令和5年12月15日～6年3月31日 ・右岸さくらの小径の手すり間接照明 (12月15日のみ 桜橋の橋脚ライトアップ、さくらの小径の樹木等ライトアップ)
- 第2期 令和6年3月23日～6年3月31日 ・桜橋の橋脚ライトアップ ・幸橋の橋下空間照射
- ・左岸、右岸河川敷遊歩道の足元照明 ・左岸河川敷に文字等あかりのモニュメント

※関係者ヒアリング、降雪時期、桜の開花時期(桜まつりとあわせて実施)を鑑み、2回に分けて実施

◆実施状況



左岸河川敷遊歩道の足元照明



文字等あかりのモニュメント



さくらの小径の手すり間接照明



さくらの小径の樹木ライトアップ

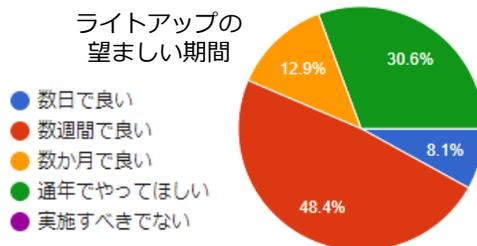
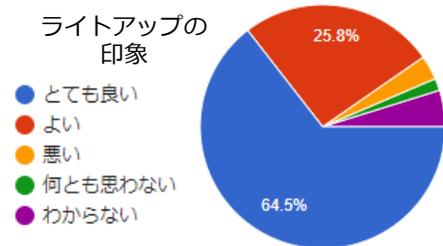


右岸河川敷遊歩道の足元照明

◆アンケート結果

社会実験エリアにQRコード付きアンケートパネルを12箇所設置。62名から回答

- ・ライトアップの印象 「とても良い」「良い」が9割以上
- ・ライトアップの望ましい期間 「数週間」が5割、「通年」が3割、「数か月」「数日」が1割ずつ
- ・主な意見「きれいな景観、華やか、名所になる、写真に撮りたい、また夜に来たい」



幸橋の橋下空間照射



桜橋の橋脚ライトアップ

3-1. 夜間景観形成のコンセプトと基本方針

五橋と桜並木が魅せる、福井ならではの水辺絶景
眺めて・使って心地よい夜の足羽川

環境配慮

- ・省エネ
- ・SDGsの視点

桜並木と水辺が楽しめる安らぎの光

惹きつける水辺の魅力と回遊性の創出

- ・絵になる風景の創出
- ・ランドマークとしての橋梁演出
- ・桜並木の魅力の最大化
- ・フォトジェニックな仕掛けの創出

市民の日常を支える

- ・快適な歩行空間
- ・居心地の良い滞留空間
- ・橋上環境のアップデート

安全・安心の強化

- ・危険な暗がりがない水辺
- ・水害/積雪に耐える照明

多様な河川敷アクティビティを支えるあかり

安全・安心なあかり

【共通】

- ・オールLEDで省エネ化、長寿命化
- ・新設器具は可能な限り調光制御とし、電気代を削減

【橋梁】

- ・県都福井にふさわしい落ち着きと品格のある橋梁照明
- ・五橋それぞれの特徴を活かし、光のランドマークとして回遊性に寄与
- ・既存照明を下方配光のLED照明に更新し、省エネとグレア低減

【河川敷】

- ・足元灯により、路面の明るさを確保し、歩行の誘導にも寄与
- ・増水時に破損しない、漂流物をとどめにくい水中仕様の照明を採用
- ・広場エリアには、上方からの大きなあかりによってアクティビティ活動を誘発

【堤防天端遊歩道】

- ・最低限の足元の明るさを確保
- ・樹木による暗がりを払しょくして、散歩や行むことへの安心感を創出

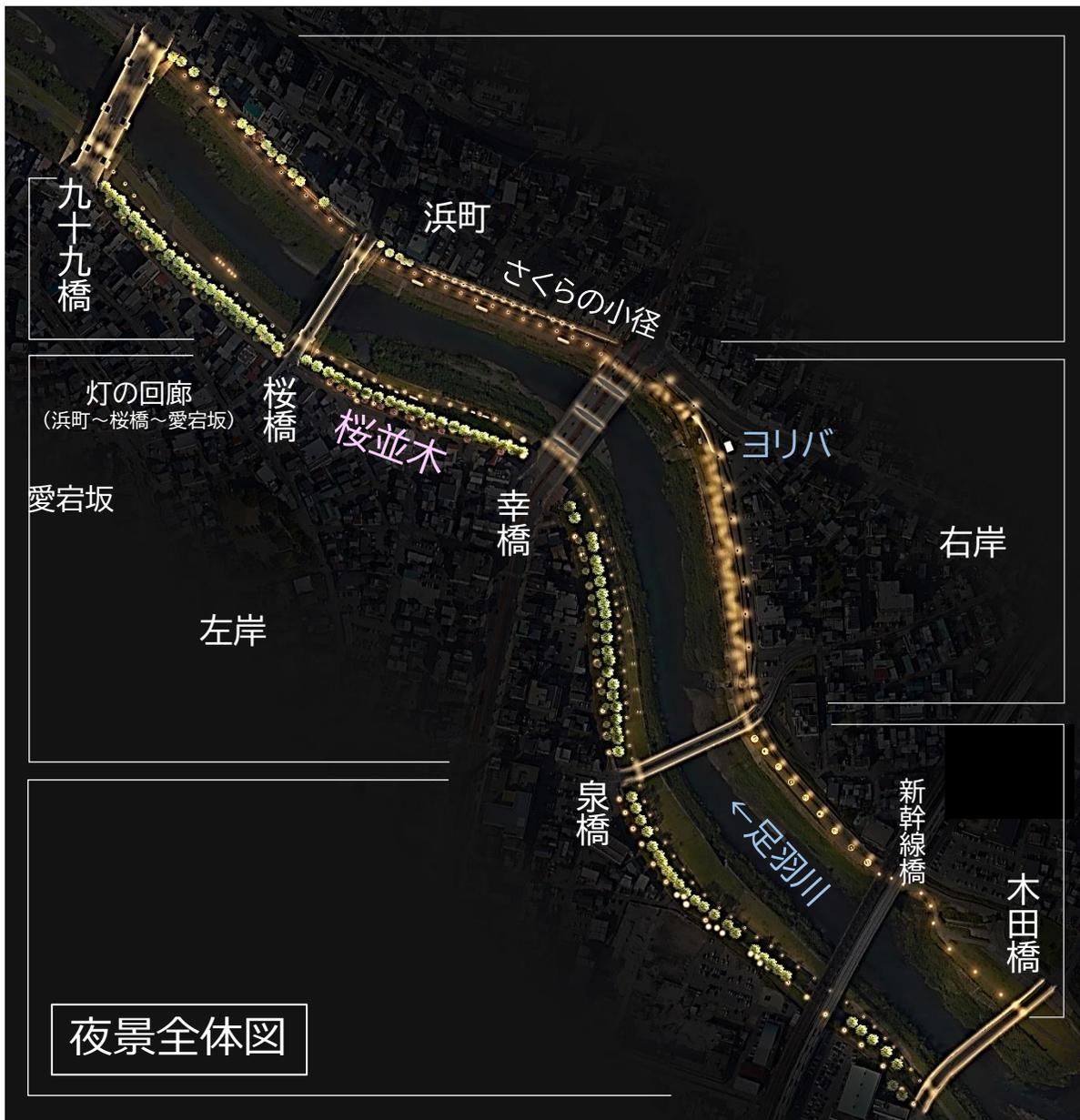
【左岸の桜並木】

- ・桜の開花時はこれまで同様に桜並木をライトアップ
- ・桜の生育に配慮しながら、通年に渡って桜並木を魅せ、魅力を最大化

【その他】

- ・文字モニュメント等フォトジェニックな仕掛けの創出

3-2. エリアの関係性とエリアコンセプト、夜景全体図



右岸【九十九橋～幸橋】

料亭街浜町からの
そぞろ歩きを誘発する

「眺め・たたずむ水辺」

- ・対岸の桜並木ビュー
- ・河川敷アートや花壇
- ・座れる水辺

右岸【幸橋～泉橋】

「ヨリバ」を拠点に様々な
アクティビティが行われる

「使いこなす水辺」

- ・明るく広いヨリバ下の広場
- ・幅が広い橋裏空間の活用

右岸【泉橋～木田橋】

日常の散策が可能なあかり
鉄道ビューと学びのある水辺

「交流の水辺」

- ・シンプルな光の点在
- ・回遊性を高め、日常に「めぐる楽しみ」をつくることを検討

左岸【九十九橋～桜橋】

右岸からのビューをつくる

「眺める並木」

- ・安全安心な桜並木遊歩道
- ・車両の利用も多い河川敷

左岸【桜橋～泉橋】

右岸からのビューをつくり
河川敷空間に降り立つことが
楽しい

「緑を楽しむ水辺」

- ・安全安心な桜並木遊歩道
- ・桜並木のライトアップ
- ・記念撮影スポット

左岸【泉橋～木田橋】

並木道の散策と静けさ

「緑と静けさの水辺」

- ・安全安心な桜並木遊歩道
- ・ベンチから眺める水辺

夜景全体図

3-3. エリア別整備方針

各橋梁 共通

- ・グレアが強く、光が広がる下方配光の既存照明をLEDに更新【省エネ化、グレア低減】

九十九橋

- ・橋脚のライトアップ
- ・手すり間接照明（個性的な東屋を活かす。）

桜橋

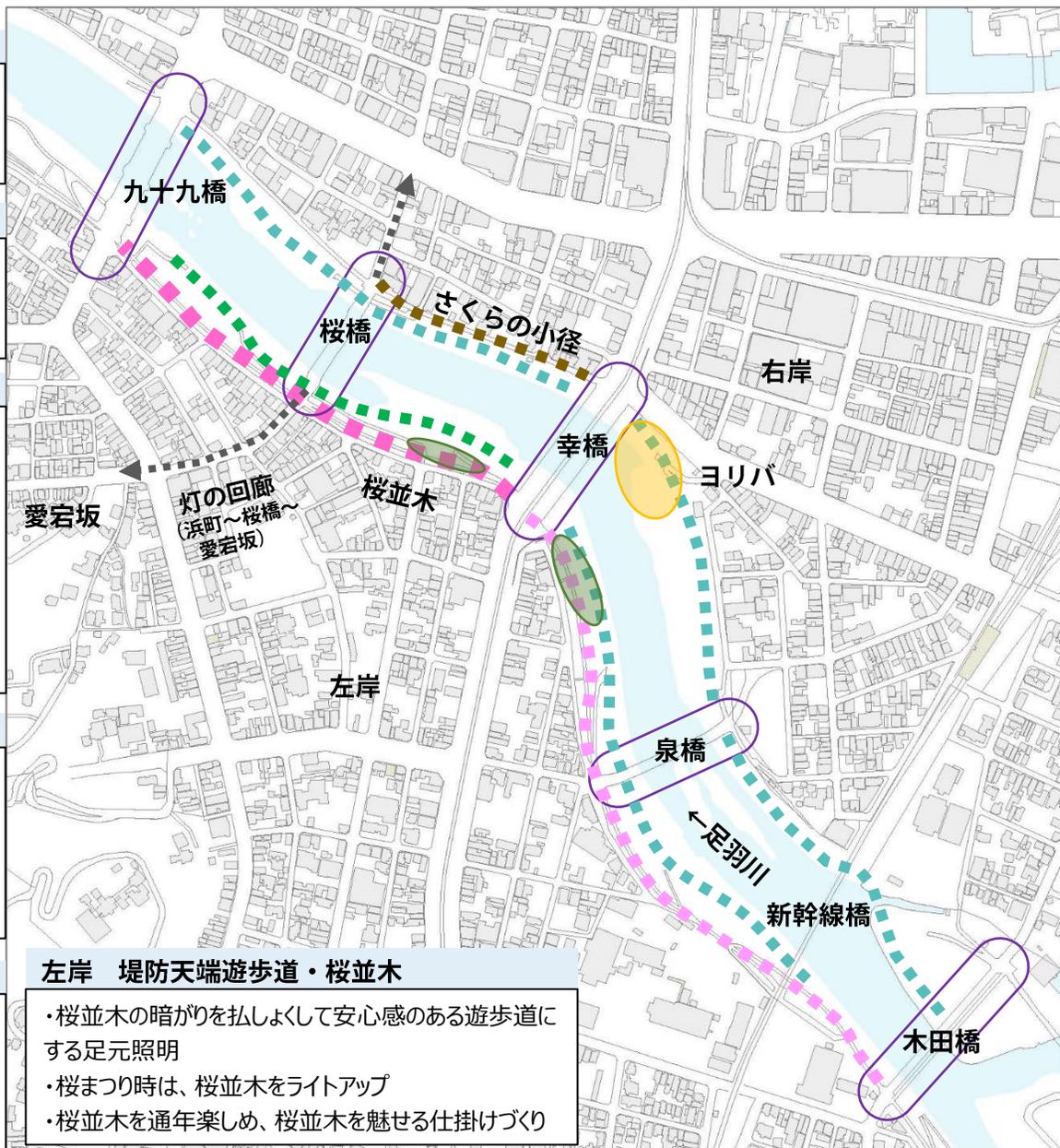
- ・橋脚のライトアップ
- ・手すり間接照明（特徴的な木目調の手すりの縦格子を魅せる。）
- ・手すりや歩道舗装の改修
- ・浜町～桜橋～愛宕坂の動線を行灯等でつなぎ、回遊ルートを目覚め【灯の回廊の整備】

幸橋

- ・橋脚のライトアップ
- ・幅が広い橋下空間を照射し、夜間や雨天時に有効活用
- ・演出照明整備済み。更新時期に合わせて、LED化

泉橋・木田橋 共通

- ・手すり間接照明
- ・地覆(側面)間接照明（シンプルな水平ラインを魅せる。）
- ・北陸新幹線の車窓から眺める。



左岸 堤防天端遊歩道・桜並木

- ・桜並木の暗がりやを払しょくして安心感のある遊歩道にする足元照明
- ・桜まつり時は、桜並木をライトアップ
- ・桜並木を通年楽しめ、桜並木を魅せる仕掛けづくり

H:右岸 河川敷遊歩道

- ・ウォーキングや犬の散歩など、夕刻のアクティビティを支える足元照明
- ・河川管理上支障のない範囲で、埋設型の水中照明を検討
- ・イベント時は、専用のカバーを配置し、光を拡散

左岸 河川敷遊歩道

- ・桜並木とモニュメントが創り出す浜町から眺められる河川夜景
- ・イベント時等、右岸から眺められ、左岸では記念撮影ができる、あかりのモニュメント検討
- ・河川管理上支障のない範囲で、埋設型の水中照明を検討

右岸 堤防天端遊歩道(浜町周辺、さくらの小径)

- ・遊歩道の照明をアップグレード
- ・手すり間接照明（浜町側市道の明るさも向上）
- ・桜やグリフィス像等工作物のライトアップ

右岸 河川敷(ヨリバ・幸橋周辺広場)

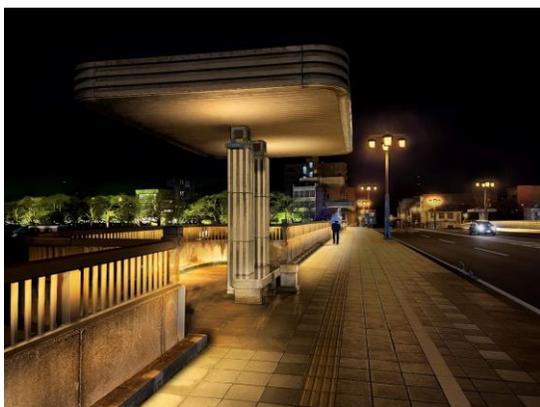
- ・堤防天端のスポットライト型ハイポール照明により、河川敷を親水広場化。多様なアクティビティが可能に

右岸 河川敷遊歩道(泉橋～木田橋)

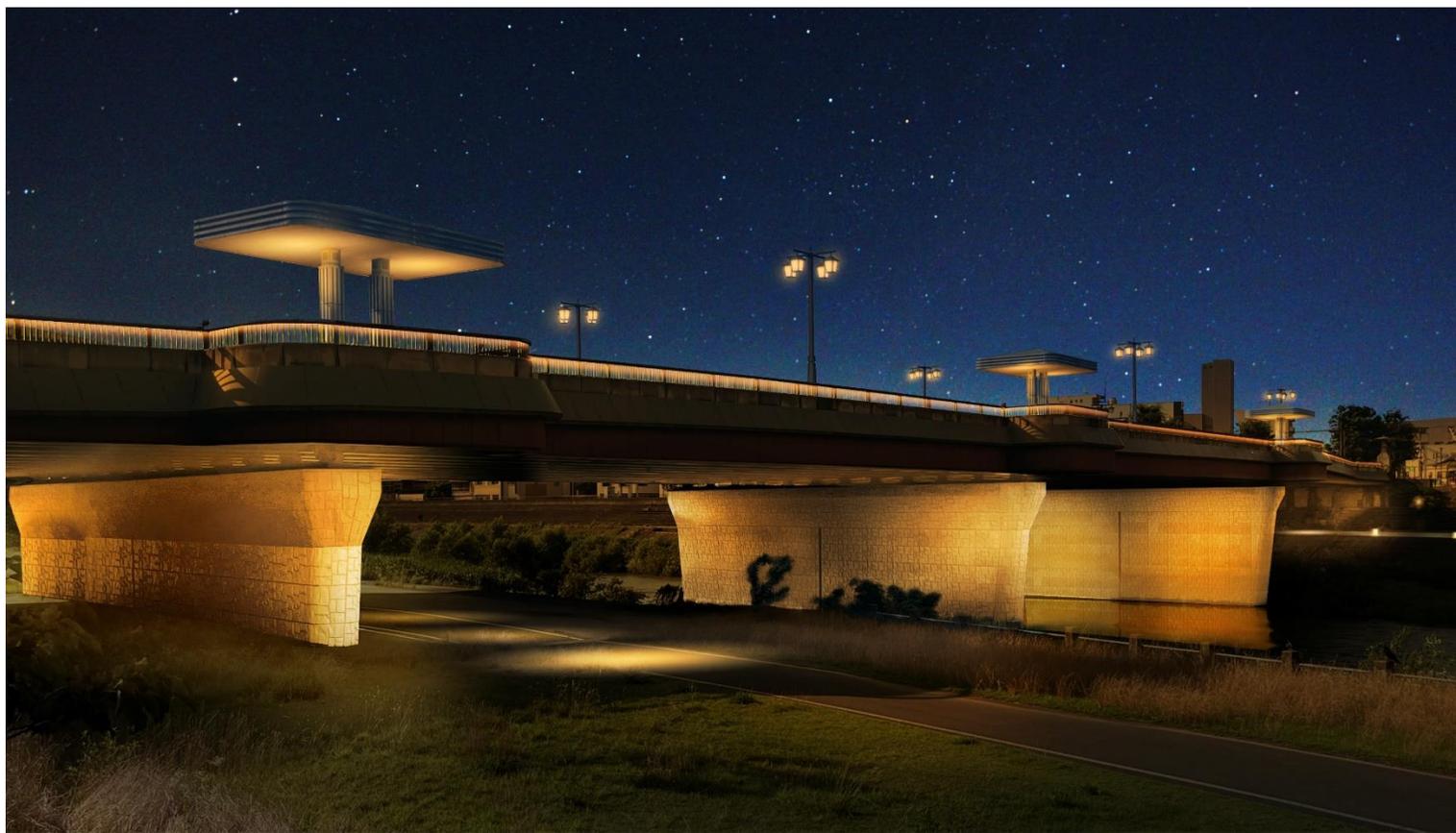
- ・シンプルな光が点在する広角スポットライト

4-1. 九十九橋

現状



橋上のイメージ



九十九橋ライトアップの整備イメージ

①手すり間接照明

- ・橋梁の水平ラインを魅せる。
- ・歩行者の安全性や快適性を向上し、回遊する楽しさを付与

②橋脚ライトアップ

- ・夜間でも視認できるよう、護岸側からライトアップ

③橋上の東屋

- ・九十九橋の個性的な東屋を活かしたライトアップを検討

④既存照明のLED化、グレア軽減（5橋共通）

- ・グレア（不快なまぶしさ）が強く、光が広がりエネルギーロスの大い
既存の道路照明器具を、下方配光のLED照明に更新【省エネ、グレア軽減】

4-2. 桜橋

現状



①手すり間接照明

- ・特徴的な木目調の手すりの縦格子を魅せる。
- ・歩行者の安全性や快適性を向上し、回遊する楽しさを付与

②橋脚ライトアップ

- ・夜間でも視認できるように、護岸側からライトアップ

③「灯の回廊」の整備

- ・浜町から桜橋～愛宕坂の動線を行灯等でつなぎ、回遊ルートを目視化
- ・浜町の雰囲気と調和した落ち着いた照明演出
- ・老朽化している手すりや歩道舗装を改修

④既存照明のLED化、グレア軽減（5橋共通）



橋上の整備イメージ



桜橋ライトアップの整備イメージ

4-3. 幸橋

現状



- ①照明設置による橋下空間の有効活用
・橋梁幅が広く、橋下が暗いため、雨天・夜間時に、幅の広い橋下空間をイベント等で利活用できるよう、橋桁裏に照明を設置
- ②既存照明のLED化、グレア軽減
・橋脚ライトアップや手すり照明実施中。照明器具の更新時、見え方を踏まえ、必要に応じてLEDへ更新



社会実験時の橋下照明



幸橋ライトアップの整備イメージ

4-4. 泉橋

4-5. 木田橋

泉橋 現状



泉橋 橋上の整備イメージ

【泉橋・木田橋 共通】

①手すり間接照明

- ・歩行者の安全性や快適性を向上し、回遊する楽しさを付与

②地覆（側面）間接照明

- ・側面を照らし、シンプルな橋梁の水平ラインを魅せる。
- ・河川敷から見通した時に、遠くからでも美しい橋梁の重なりが見える。
- ・北陸新幹線の車窓から見え、ランドマークとしての存在感を向上

③既存照明のLED化、グレア軽減（5橋共通）

木田橋 現状



泉橋ライトアップの整備イメージ



木田橋ライトアップの整備イメージ

4-6. 右岸 河川敷遊歩道

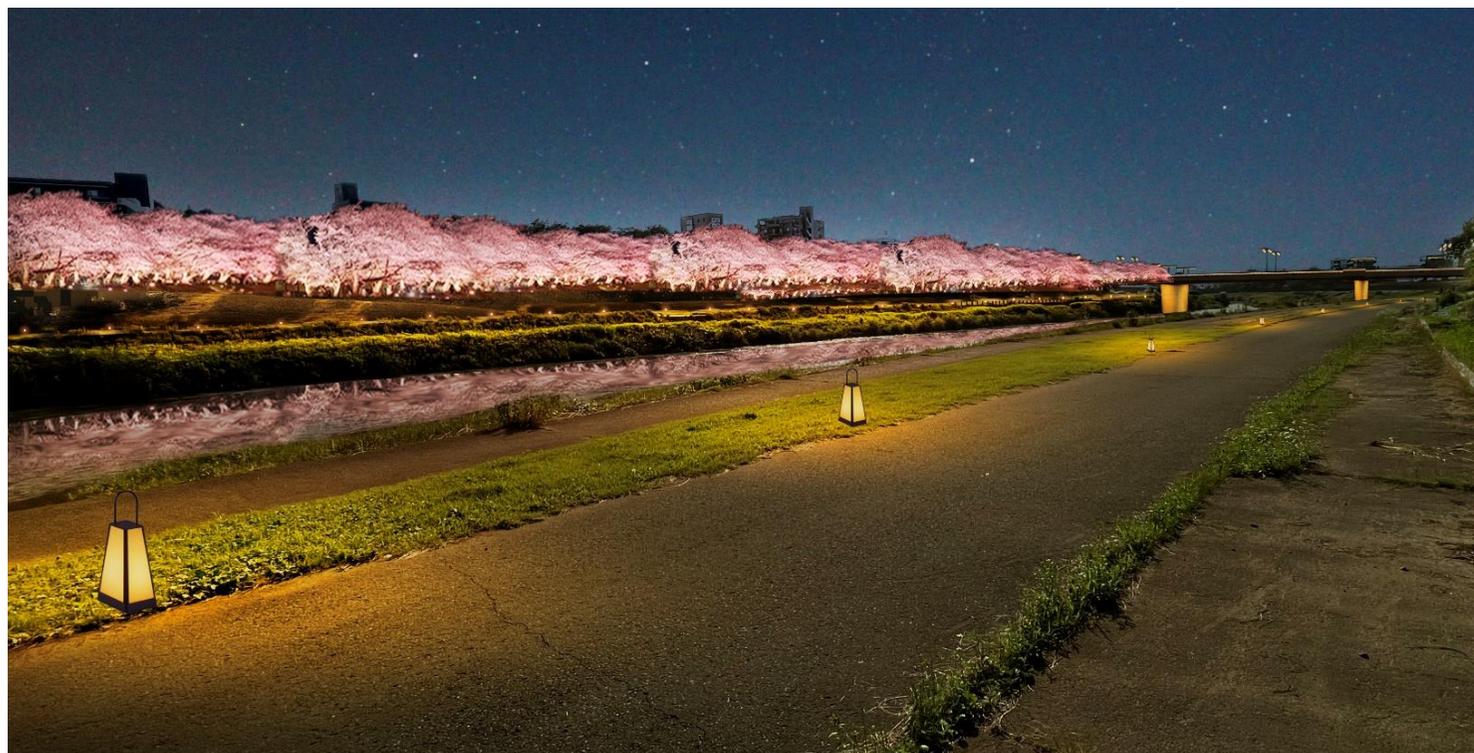
【九十九橋～泉橋】

① 地中埋設照明によるカバー型足元照明

- ・河川敷を利用する人が多いエリア
- ・ウォーキングや犬の散歩など、夕刻のアクティビティを支えるあかり
- ・河川管理上支障のない範囲において、埋設型水中照明を設置
- ・イベント時には、水中照明の上に専用のカバーを配置し、光を拡散して、足元の明るさを確保



令和5年度 社会実験時（器具間隔8m）



ライトアップ（桜まつり時）の整備イメージ



ライトアップの整備イメージ（桜橋より。器具間隔16mの場合）

【泉橋～木田橋】

① シンプルな広角スポットライト

- ・JR橋があり、現在は利用の少ないエリア
- ・リズム感のあるシンプルな光の点在で、歩いたり、運動したり、河川敷を通行する楽しみを創出して、回遊性を確保

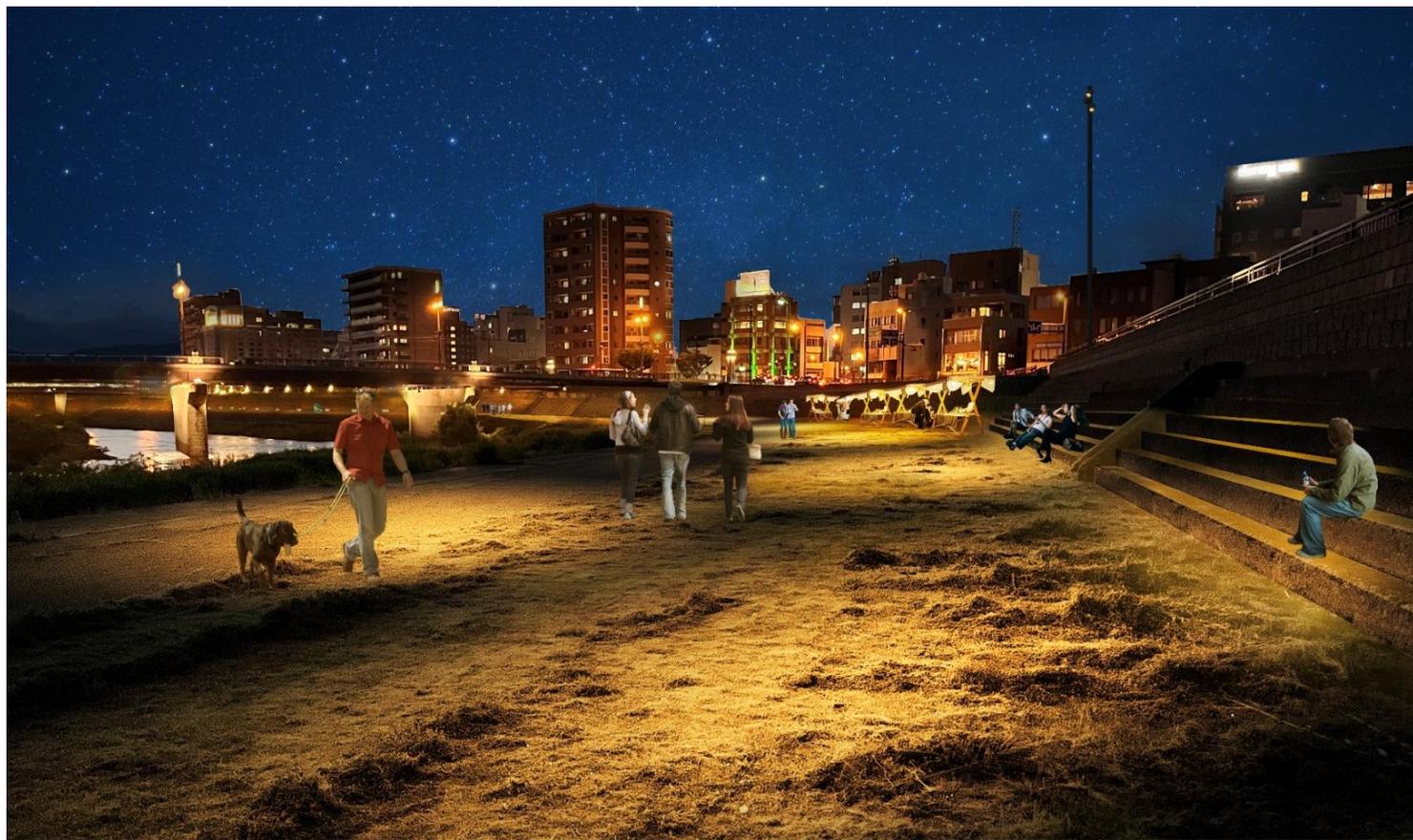


河川敷ライトアップ（泉橋～木田橋）の整備イメージ

4-7. 右岸 河川敷 (ヨリバ・幸橋周辺広場)

① スポットライト型ハイポール照明

- ・ 足羽川アクティビティ拠点施設「ヨリバ」や幸橋周辺の幅の広い河川敷エリア
- ・ 現在、キャンプやバーベキューなど多様なイベントを開催
- ・ 護岸天端の歩道や道路部にスポットライト型のハイポール照明を3~4灯設置して、河川敷エリアをしっかりと照らす。
- ・ 挟角のため、明るく、かつ陰影も感じられ、高水敷の様々な夜間利活用が可能
- ・ イベントや利活用の用途により、明るさや暗さを調整
- ・ 照明整備により、夜間の様々なイベント開催が期待

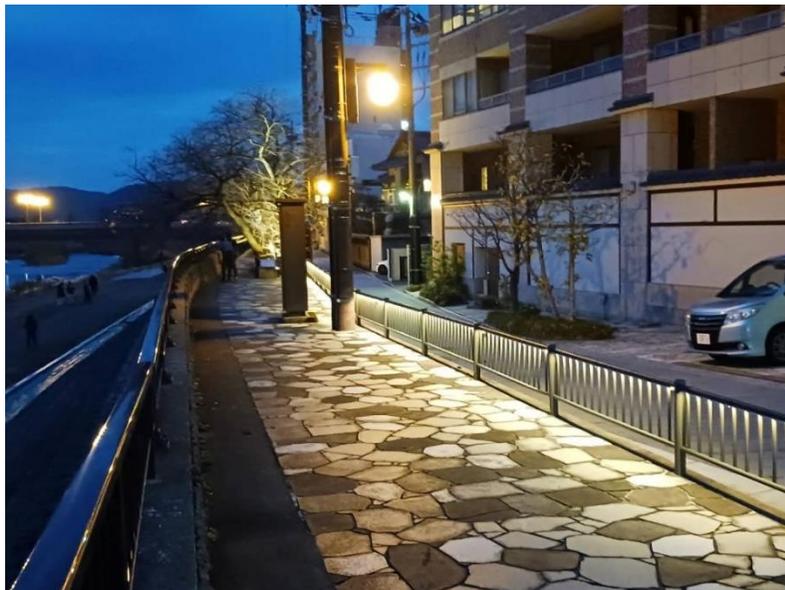
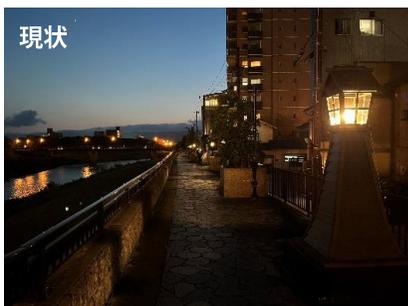


ライトアップ (ヨリバ周辺広場) の整備イメージ



ライトアップ (幸橋下の広場) の整備イメージ

4-8. 右岸 堤防天端遊歩道（浜町周辺、さくらの小径）



①手すり間接照明

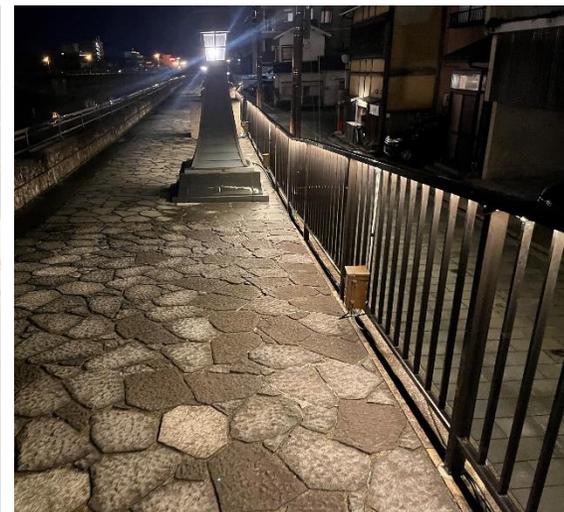
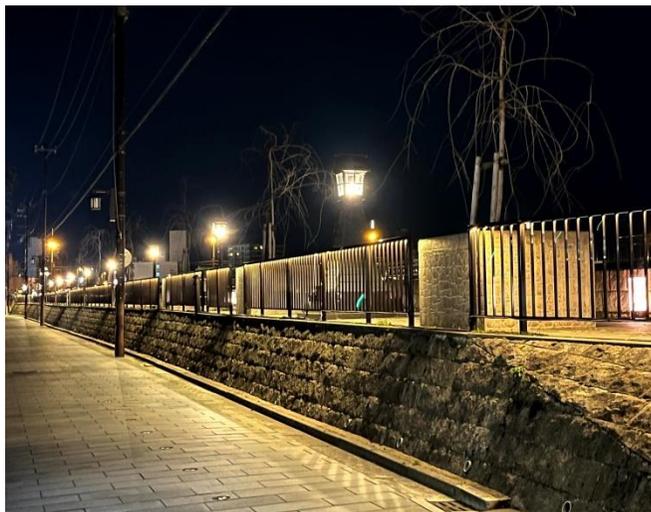
- ・路面に柔らかな明るさを付与あわせて、浜町側道路の暗がりも払しょく

②樹木のライトアップ

- ・遊歩道上の樹木の暗さが不安の原因となるので、樹木の生育に配慮して、ライトアップ

③グリフィス像等工作物のライトアップ

地域の歴史等を語る文化資源を夜間景観の演出に活用



ライトアップの整備イメージ（令和5年度の社会実験の状況）

手すり間接照明は背面道路の明るさ向上にも寄与。地元の方や観光客の方から高い評価を得た。

4-9. 左岸 桜並木・堤防天端遊歩道

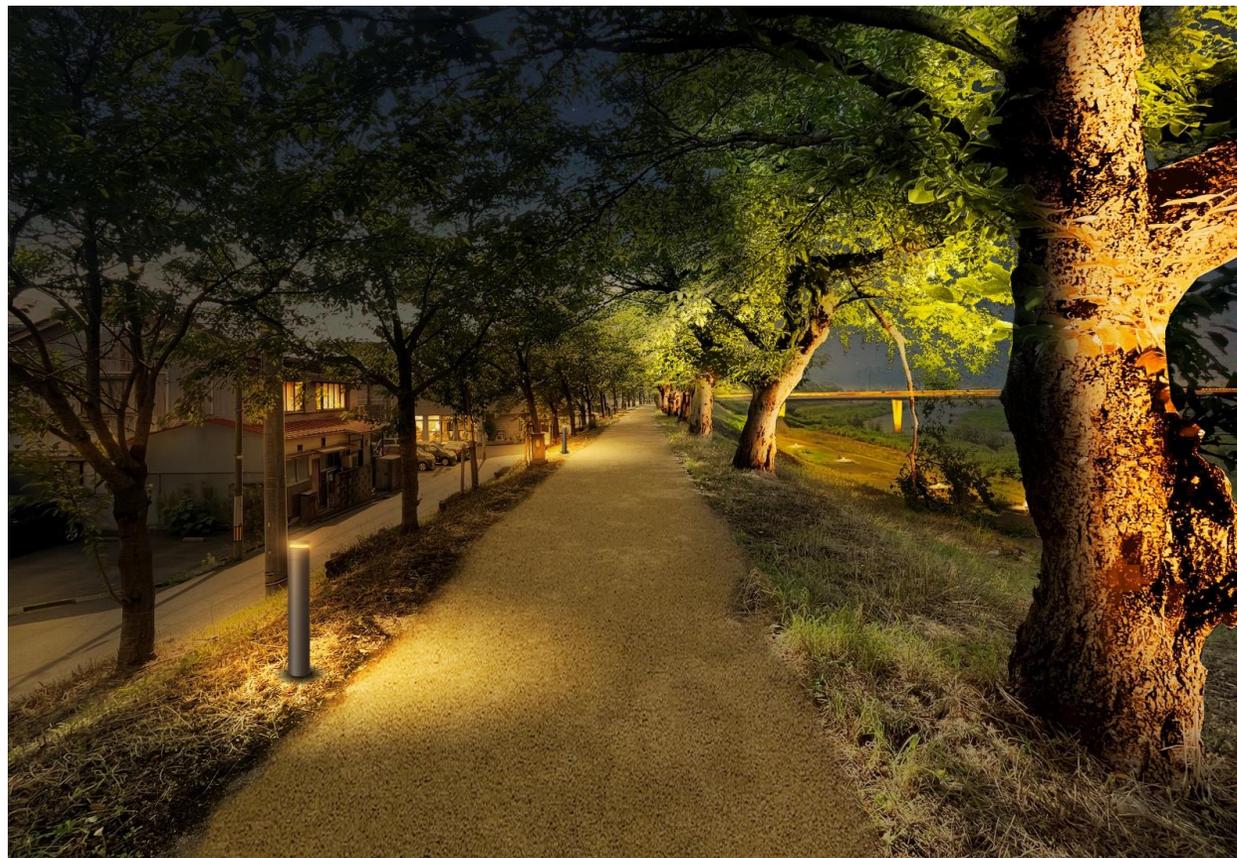


現状

【堤防天端遊歩道】

① 足元照明

- ・桜並木が続く遊歩道は、散歩などの利用が多い。
- ・現在、一部区間で足元照明があるものの、暗がりとなっている堤防天端の遊歩道を安全に歩けるよう、足元の明るさを確保
- ・既存足元照明の照度アップや増設、もしくは下向配光型の低ポール灯の設置を検討



堤防天端遊歩道ライトアップの整備イメージ



桜の生育に配慮し、桜並木の川側のみを河川敷からライトアップした場合のイメージ

【桜並木】

① 桜のライトアップ

- ・桜並木は福井市の重要な観光資源。桜まつりの桜のライトアップ時には、多くの方が足羽川を訪れ、高い誘客効果を得た。
- ・桜並木を活かすためには、1年を通して夜間においても、桜並木を楽しめ、遊歩道をそぞろ歩きしたくなる、また、右岸から桜並木を魅せる仕掛けづくりが必要
- ・一方で、桜の老朽化が進んでおり、桜並木のライトアップの通年化にあたっては、桜の生育を妨げない対策もあわせて検討する必要がある（川側のみなど部分的な照射、根を傷めない河川敷等への照明設置、照射時間の短縮など）

4-10. 左岸 河川敷遊歩道

現状



①ソーラー足元灯（イベント時）

- ・河川敷が広く、河川公園となっており、河川敷や遊歩道を利用する人が多く、また、桜まつりなどのイベント時には、キッチンカー等が多数出店し、多くの方でにぎわうエリア
- ・車両の進入が多く、遊歩道沿いへの照明設置は不可能と考えられるため、イベント時などに移動可能な小型のソーラー足元灯を配置

②地中埋設照明によるカバー型足元照明

- ・ウォーキングや犬の散歩など、夕刻のアクティビティを支えるあかり
- ・車両の進入が少ないエリアにおいては、左岸同様、河川管理上支障のない範囲において、埋設型の水中照明を設置
- ・イベント時には、水中照明の上にシンプルな角型のカバーを配置し、光を拡散して、足元の明るさを確保



ライトアップの整備イメージ（幸橋より）



ライトアップの整備イメージ（河川敷より）

4-11. 左岸 河川敷遊歩道（あかりのモニュメント）

①対岸からも見える光のモニュメント

- ・文字等のモニュメントは、記念撮影のポイントとして全国各地で整備が活況
- ・本エリアでも、出水期や降雪時期を避けながら、イベントや催しに応じたモニュメントの設置を検討
- ・イベント時には、着脱可能な文字モニュメントやキャラクターのアイコンパネルを設置し、対岸からのビューを創出。近くでは、記念撮影が楽しめる。



各地の文字モニュメントブームの火付け役となった神戸市のBE KOBEモニュメント（金属製）



ライトアップの整備イメージ（河川敷より）



令和5年度 社会実験の状況

文字モニュメントやキャラクターに人気があり、設置直後から多くの方が記念撮影をしている姿が見られた。

4-12. 照明設備の設計・整備にあたって

照明設備の設計や整備工事にあたっては、最新の照明技術の活用について幅広く検討していく。

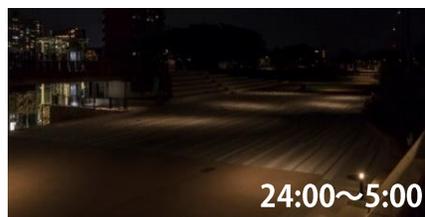
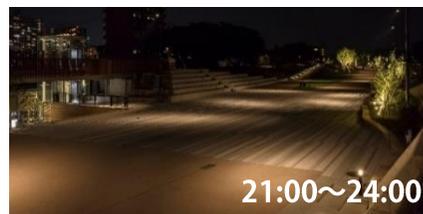
◆時間帯や使用状況に応じて、明るさを調節できるタイプ

にぎわいイベントの時は十分な明るさで快適に。キャンプの時には雰囲気のある明るさを楽しむ。



◆細かな時間管理により、高い省エネを実現できるタイプ

公園等の照明を細かく時間管理し、安全安心を確保しながら、深夜には大幅な減光を実施して大幅な省エネを実現している事例。（草津川跡地公園）



◆色彩を変更（カラーライトアップ）できるタイプ

特別な日時に固有の色彩に変更可能な照明。国際的なカラーライトアップデーに参加可能。

市民のシビックプライド醸成や観光都市としての知名度向上にも寄与



（電球色）通常時の点灯イメージ



（桜色）桜まつりやピンクリボンデー時の点灯イメージ



（青色）海の日や世界糖尿病デー時の点灯イメージ

足羽川ライトアップ計画

令和6年6月

福井県未来創造部 新幹線・交通まちづくり局 交通まちづくり課
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL : 0776-20-0724 FAX : 0776-20-0729
E-mail : kotsuka@pref.fukui.lg.jp